

にほんごコミュニケーション

よこはま日本語学習支援センター ～横浜 × 日本語 × 多文化共生～

特集

地域日本語教室で「オンライン学習教材」
を活用してみよう！

横浜で暮らす外国人トークリレー

第3回：レ・ティ・ホさん

連載記事

～コロナ禍における活動の変化・生活の変化～

第3回：留学生の体験を聞いて

にほんご べんきょう かた
日本語を勉強したい方は、
はんたい よ
反対のページからお読みください



編集・発行 よこはま日本語学習支援センター（運営：公益財団法人横浜市国際交流協会（YOKE））
〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1 パシフィコ横浜 横浜国際協力センター5F YOKE 内
電話 045-222-1173 FAX 045-222-1187 MAIL c-nihongo@yoke.or.jp

発行年月日 2021年1月5日

よこはま日本語学習支援センター運営事業は、横浜市の委託を受けて実施しています
文化庁 令和2年度「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」活用

横浜で暮らす外国人 トークリレー

第3弾!

外国人のみなさんに、

生活の中での日本語との関わりについて話していただくコーナーです。

第3弾となる今回は、「働くこと」についてお話を伺いました。

仕事で使うことばは専門用語も多く、外国人の方にとっては特に難しく感じるでしょう。

様々な国の人とともに働くための、よりよいコミュニケーションを考えたいものです。



Profile

レ・ティ・ホさん (ベトナム)

日本在住歴：16年 介護職員

10年以上クリーニング業界で働いていたホさん。介護職への転職を決意し、介護分野で働く意欲のある外国人等に対する「介護職員初任者研修」を受講しながら、今年9月より介護施設で働いています。常に「人のため」にできることを考えているホさんです。(聞き手：Y)

日本に来た理由を教えてください

妹の結婚のお祝いで、家族で日本旅行にきたのがきっかけです。日本の景色や桜、雪などがとても楽しかったです。当初は旅行だけで日本に住む予定はありませんでしたが、滞在中に縁あって日本で生活することが決まりました。以来約16年、一人息子の子育てをしながら日本で暮らしています。

どのように日本語を勉強してきましたか？

当初日本に住む予定はなかったので、ベトナムでは特に日本語の勉強はしていませんでした。日本語の知識が何もなくだったので苦労しましたが、来日後しばらくは、祖父が持っていた日本語のテキストを使い、独学で勉強をしていました。その後、地域の日本語教室に通い、読み

書き・発音などの勉強をしました。日本語教室では、ボランティアさんに日本語の勉強の他、災害時の対応方法や子どもの学習支援など、生活に関わることにしてもサポートしていただきました。最近の仕事が忙しく、日本語教室に通えていませんが、今でもボランティアさんが心配して連絡をくれたりしています。また、近所に親しい友人もでき、日本語の勉強も日々頑張っています。

介護の仕事を目指した理由は何？

学生の頃、看護師になるという夢がありました。家庭の事情で違う道に進みましたが、その時の夢がどうしても諦められず、同じ「人の役に立つ」仕事である介護職への転職を決意しました。今年の9月から働き始めたばかりですが、利用者

転職後、日本語で困ったことはありましたか？

今回転職するまでの仕事では、ベトナム人スタッフが多かったこともあり、日本語をあまり話さない環境で働いていました。今の職場はほとんどが日本人のスタッフなので、日本語を話さない日はありません。

先日、ケア中に利用者の洋服がお茶で濡れるアクシデントがありました。スタッフにその経緯を説明できず困っていました。同僚に表現方法を教えてもらい、無事に報告することができました。

毎日のように分からないことばがあったりしますが、日々のこうしたやり取りが、コミュニケーション力のアップにつながると感じています。日本語を使う機会が格段に増えて、大変ですが嬉しいです。

今後やりたいことは何ですか？

まずは、日本語で学校の先生と息子の進路相談などができるようになりたい。そして、息子が「新たに挑戦したい」ことをかなえる力になってあげたいです。

また、いつ実現できるかは分かりませんが、大きい夢が2つあります。一つめは、ベトナムで日本の介護の状況を伝えること。二つめは、日本へ留学したい子どもたちをサポートすることです。ベトナムで日本語を勉強するにはお金がかかります。金銭的な理由で夢を諦めなければならぬ子どもを、一人でも減らしたいと思っています。

コロナ禍における活動の変化 生活の変化

第3回：留学生の体験を聞いて

新型コロナウイルスの感染拡大が始まった春休みは、もともと留学生の一時帰国や引っ越しが盛んな時期です。今も様々な制限があるなか、留学生はどのように過ごしているのでしょうか。横浜市国際学生会館*に入居中の二人に、学業のこと、生活のことなどを聞きました。

*横浜市国際学生会館：外国人の留学生、研究者等に宿泊施設を提供するとともに、市民の国際理解を推進するために設置された会館です。指定管理者は YOKE。



ネパール・男性
専門学校 国際ビジネス学科 2年
2017年に来日
Aさん



中国・男性
大学院 教育学研究科・修士2年
2018年に来日
Bさん

学生会館での生活はどうですか？



Aさん 今年4月に学生会館への引っ越しを予定していましたが、コロナの影響で入居できなくなってしまい、とても大変でした。春休みにネパールに一時帰国をしたところ、日本に再入国できなくなってしまったのです。いつ戻れるか心配だった上、飛行機代は2倍以上に高騰。6月にやっと日本に戻ってきた後も、2週間隔離生活をしなければなりませんでした。



Bさん そのような中で入居だったので最初はとても不安でしたが、今は、みんな家族みたいで、本当に心地よいです。たとえば、8月に体調を崩したときは、周りの人が助けてくれました。病院へ行くときも学生会館のスタッフが手伝ってくれて、ホッとしました。

学習環境・留学生生活はどう変わりましたか？



Aさん 以前はほぼ毎日学校に通っていましたが、今はそうではありません。10人と半分のクラスの人数が20人から減りました。通学する日はマスクをして、友達とコミュニケーションを取るときは近くに座らない、など気をつけています。コロナウイルスの心配は尽きませんが、学校がある日はほとんど休まず通っています。

生活面でも変化が起きています。ネパールから日本に戻ってきて間もない時期はアルバイトができず、経済的に困り、ローンを組んだこともあります。今では以前から働いていたアルバイト先で仕事を再開。なんとか生活できています。



Bさん 今年度、前期の授業はすべてオンラインとなりました。緊急事態宣言が出されていた時は図書館にも行けず、大学構内にも入れませんでした。短い学生生活なのに制限が多く、とても悔しいです。そして中には、やむを得ず、研究内容を変更した学生もいます。専攻がイタリヤやイギリスで、現地に滞在している調査研究が必要な学生たちです。渡航できないので仕方ないですが、卒業を目前に研究内容を変えるのは、かなり大変なことです。

母国の状況と今後について教えてください。



Aさん 日本で緊急事態宣言が発令されていた4月ごろ、ネパールの感染状況は1〜2人でしたが、今は増えていると聞いています。コロナ禍の大変な状況は続くと思いますが、日本で就職したいと考えています。今できることを考え、この状況を乗り切りたいと思っています。



Bさん 中国では感染が広がりが大変な時期もありましたが、家族は大丈夫でした。日本の人と自然が好きなので、私も日本で就職したいと思っています。このような時期での就職活動はとても大変だと思いますが、頑張ります。



ハロウィンパーティーでの様子。感染症対策に気を付けながら楽しみました。

これから日本で就職をしたいお二人、コロナ禍でいろいろ大変だと思いますが、自分の夢に向かって、変わらぬ努力をすることは間違いないと信じます。お二人に明るい未来がありますように！（YOKE）

館長よりひとこと

2020年は世界中の人が平穏な日常を失った年でした。学生会館の学生も、学校は閉校となり、外出も自粛を余儀なくされ閉ざされた毎日を送ることとなりました。しかし、コロナ禍でも少しでも楽しくしようと、学生たちは感染予防を遵守しつつ、オンラインビンゴ大会や屋上庭園での星空映画会、鶴見deお散歩、花火大会を実施し、親睦を深めました。事務室は学生の困窮を心配し、いろいろな生活相談に乗りながら、ボランティアの皆さんに声をかけ、たくさんの食糧物資を支援していただきました。厳しく寂しいこの時期に学生会館で過ごした思い出を励みに、世界を翔ける活躍に期待しています。（学生会館館長・平田 大登）



地域日本語教室で活用してみよう！

オンライン学習教材

(日本語学習サイト)

しばらく活動できなくなった地域日本語教室も、現在では市内70%の教室が再開しています(2020年9月1日現在)。新たにオンラインでの教室を開始した教室もありますが、これまでと異なる形態に、悩みを抱える支援者も多いようです。この記事では、今後活動を続けていく上でのヒントとなりうる情報を皆さまにご紹介いたします。

オンラインを始めてみたもの...

コロナ禍によりオンライン学習への需要が高まる中、市内多くの教室で、オンラインを活用した学習支援が広がりを見せています。これまでの当たり前が変わりつつある現在、私たち支援者側も、変化を迫られています。

しかし、既にオンラインでの活動を行っている支援者からは、「準備が大変になった」「学習者とコミュニケーションをとるのが難しい」「オンラインシステムの機能が使いこなせない」など、困りごとも多くさん聞こえてきます。これらの悩みはどのようにしたら解消できるのか、考えています。

活用してみよう！ 多様なオンライン学習教材

オンラインで学習支援を行うとき、どのような教材を準備したら良いのでしょうか。オンライン学習に適した教材を一から準備するのも良いですが、手間も時間もかかってしまいます。そこで、より手軽に始められる方法として、すでにインターネット上にある「オンライン学習教材」を利用することを勧めます。

例としては、文化庁運営の「生活者としての外国人」のための、日本語学習サイト「つながるひろがるにほんごでのくらし」があります。サイトに掲載されている動画や表現・言葉のリストなどは、日本語教室等で自由に使用することが可能とのこと。画面を学習者と共有しながら、楽しく授業を進めることができますね。

この他にも、オンライン学習支援に適した教材がたくさんあります。詳しくは、つながるひろがるウェブサイトのTOPページ

ジ下部「その他の教材・情報」よりご確認ください。(左記QRコード参照)



▲基本的な日本語の表現・言葉の学習を目的とした、文化庁運営のウェブサイト



つながるひろがるウェブサイトは、こちら！

オンライン学習教材使用のメリット

はじめにオンラインでの学習支援を行うとき、資料が配布できないことを不便に感じる支援者も多いようです。確かに、対面で行っていたように、紙の資料を配布しての学習支援は難しいと思います。

しかし、使う資料は「紙」でなければならぬでしょうか。日頃からスマートフォンを使いこなし、インターネットで何でも検索するような学習者には、むしろ「紙」でない方がいいのかもしれない。また、前述のように、インターネット上には様々な学習サイトが存在します。そしてその多くに、下図のようなメリットがあります。

●ネット上で公開されている教材の利点

- 著作権の心配がない
- 無料で入手できる
- 共有しやすい
- 何回でも見られる
- 学習時間外でもいつでも見られる

支援者側も、これまでのように時間を

かけて資料の準備をしなくても、既存のサイトを活用すれば、より手軽に活動ができるようになります。手法にとらわれないこと、学習者とながらることを大切に、オンラインを活用した新しい可能性について考えてみませんか。

日本語支援者向け「オンライン講座」を開催しました

先に書いたような地域日本語教室の状況に合わせ、YOKEでは、2020年11月11日・18日の2日間にわたり、日本語支援者向けの講座「オンライン教材・会議システムを活用した日本語学習支援」つながり続けるための工夫」を開催しました。

第1回目では、オンライン学習支援の実践例として、実際にオンラインで教室を開催している団体のレッスン動画を紹介します。学習者は自宅からの参加なので、普段見られない家庭の様子が見えたり、部屋の中にある物を使って話を進めることができたりと、オンラインならではのメリットも話題にのびりました。未経験の方も、すでにオンラインで活動されている方も、様々な実践例に触れ大変参考になったようです。

第2回目では、オンライン会議システムZoomを利用した「活動」を体験しました。「コロナ禍にあるけれど、これからの自分、何をしたいですか。どうありたいですか」というテーマで、それぞれが漢字一文字を選び、それを共有しました。その後「なぜその漢字を選んだのか」ということをブレイクアウトルーム(Zoomのグループ分け機能)に分かれて話し合うなど、実際の教室活動を体験しました。

オンラインでは、学習サイトを見るだけでなく、1つのフォームを共有して全員で書き込むことも可能です。これまでのよ

うに何度もメールでやりとりすることなく、その場で参加者から意見を集めることができます。さらに、googleドキュメント等を使用すれば、それぞれの情報を共有することができるので、簡単に成果物を持ち帰ることが可能になります。



(写真上・右) 皆さんが書いた、漢字一文字の「これからの自分」。1日でも早く、日常を取り戻すことができますように。

学習支援者向け「オンライン講座」の開催

支援者向け講座に引き続き、日本語学習サイトを使った日本語学習者向けの講座を12月2日・9日に開催しました。すでにオンラインで学習支援を始めている方数名にも、学習者の会話練習のサポーターとしてご参加いただきました。残念ながら、学習者の突然のキャンセルや欠席もありましたが、その一方で、講座中に学習者から「今から友達をよんでもいいですか。」という話が出て急遽友人が参加する、という嬉しいハプニングもありました。

講座では、「つながるひろがるにほんごのくらし」のレベル2「お店のサービスを利用してみよう」を使用し、会話練習を進めました。まずは全員でコンビ二での会話動画を視聴し、声に出して同じように話す練習をしました。その後、学習者とサポーターがブレイクアウトルームに分かれて個別で会話練習をするなどの時間もありました。Zoomの機能を上手に使うことで、ほかの学習者の発話時間を待つことなく、それぞれが自分の練習に集中できました。新しい学習の「カタチ」に触れることができた今回の講座。学習者はたくさん発話を学ぶことができ、達成感もあつたようです。また、サポーターの皆さんも、初めて会う人との会話や、オンラインで動画を再生するという初めての操作にドキドキしながらも、学習者と一緒に楽しんでいました。

今後の教室活動

この先、コロナの状況が落ち着いて通常の活動が戻ってきて、オンラインの形態は残っていくと考えられます。また、対面教室でも、インターネットの学習サイトを見ながら進めていくこともできるでしょう。支援の形も時代と共に変化していくのです。これからの新しい学習スタイルの1つとして、オンラインでの学習支援に取り組んでみてはいかがでしょうか。これからも地域の日本語教室などのみならず、情報共有しながら、つながりつづけるための教室活動を考えていきたいと思っています。

鶴見国際交流ラウンジ

日本語ボランティア入門講座でオンライン交流会を行いました！

入門講座の実施

「感染症対策を行いながら」

鶴見国際交流ラウンジでは、10月から12月の水曜夜・全9回にわたり、地域日本語教室でのボランティアに関心のある人のための入門講座を実施しました。感染症拡大が心配されるなか、開催方法は、実際の教室の形態に合わせて対面とし、安全対策を行いました。その結果、講師と受講者はパーテーション越しでのやりとりとなり、グループワークなど話し合い活動も減り、おしゃべりも気を遣いながら・・・と、せっかく教室に集まっても交流が制限されてしまいました。

オンライン交流会の様子

そのような状況をカバーしようと、講座の中間地点にあたる11月18日に、「オンラインによる交流会」を企画しました。

この交流会には、受講者、すでに活動中の日本語ボランティア、講師、ラウンジスタッフの26人が参加しました。受講者から入門講座の感想を聞くとともに、日本語ボランティア活動について質問を受けたり、話し合ったりしました。

が普段の活動風景を動画に撮り、それを見ながらボランティアが教室を紹介しました。その後、教室ごとのグループにわかれ、教室の様子を直接聞きました。「受講者の皆さん、一緒に活動しましょう」など、あたたかい呼びかけが聞かれました。

オンラインならではの良さを見つけてオンライン交流会に参加した皆さんの感想です。

受講者

実際のクラスの風景が大変参考になりました。興味のあるグループの方ともお話ができてよかったです。

クラスではみなさんともなかなかお話ができない状況なので、楽しい時間となりました。

日本語ボランティア

皆さんのお顔を拝見できてよかったです。

我々自身も他の会の授業風景はなかなか見られず参考になりました。



▲日本語ボランティア入門講座（対面）の風景。感染症対策のため、定員を減らしての開催となりました。



日本語を勉強する…「どこで?」「どうやって?」

日本語の勉強、お役立ち情報 Vol. 3

オンラインで日本語が勉強できるサイト

インターネットの環境があれば、家でも日本語の勉強ができます。全て無料の日本語学習サイトです。



いんどり 生活の日本語

基礎的な日本語コミュニケーション力を身につける!

<https://www.irodori.jpf.go.jp/>



日本での生活や仕事に必要な、日本語でのコミュニケーション力を身につけるための教材です。3つの段階に分かれているので、自分に合ったレベルを選べます。「話す」「書く」「聞く」「読む」練習のほか、文法や漢字、日本の生活事情も勉強できます。日本語、英語、中国語、モンゴル語、インドネシア語、タイ語、ベトナム語があります。(2020年11月末時点)

出典 独立行政法人国際交流基金日本語国際センター
Source The Japan Foundation Japanese-Language Institute, Urawa

アニメ・マンガの日本語

クイズやゲーム形式でたのしく勉強できる!

<https://anime-manga.jp/>



日本のアニメ・マンガは好きですか? このサイトでは、海外で人気がある4つのジャンル(恋愛、学校、忍者、侍)のマンガの翻訳や解説などを見ながら、マンガを読んで、日本語や文化情報について学ぶことができます。アニメ・マンガをきっかけに、日本語学習を始めてみるのも良いですね。ことばは、英語、スペイン語、韓国語、中国語、フランス語があります。

出典 国際交流基金関西国際センター
Source The Japan Foundation Japanese-Language Institute, Kansai

横浜市にある、日本語が勉強できる教室

横浜市には、「地域の日本語教室」がたくさんあります。その中から、2つの教室を紹介します。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、教室開催を延期/中止している場合があります。各教室にお問合せください。 <http://www.yoke.or.jp/jdatabase/search.html>

その他の日本語教室は、ここから探すことができますよ!



南区

楽しい日本語の会

<https://tnkminami.qwc.jp/index.html>



場所: みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ
市営地下鉄 阪東橋駅徒歩5分
tom70337@gmail.com

レベルに合わせた、さまざまなクラスがあります。その他、JLPT 準備講座や、ビジネス日本語講座の特別クラスもあります。まずは、教室を見学してみてください。どんな教室なのかが分かります。

申込み: ホームページの「お問合せ」から申し込んでください。
※レッスン日: 毎週土曜日 13:00-15:00 (特別クラスを除く)

西区

YOKE 日本語教室

<https://www.tagengo.yokeweb.com/ejnihongo>



場所: 横浜市国際交流協会 (YOKE)
みなとみらい線 みなとみらい駅徒歩5分
市営地下鉄 JR 桜木町駅徒歩15分
nihongo@yoke.or.jp

暮らしに役立つ日本語を学習します。教室に参加する皆さんが、知り合うことを大切にしています。開講2か月前くらいに、YOKE ホームページや Facebook などで募集の案内をします。

申込み: 横浜市多文化共生総合相談センター (045-222-1209) まで連絡してください。
※レッスン日: 第1期: 4月~7月 第2期: 9月~11月 第3期: 1月~3月
1期につき全20回、募集の目安…1期: 2月頃、2期: 7月頃、3期: 11月頃

in Zoom

よこはま日本語ほっとタイム NIHONGO ではなそう!

毎月 第3木曜日 10:30 ~ 11:30
2021年 1月21日・2月18日
※3月以降の開催についてはお問い合わせください



<https://yokohama-nihongo.com/oshirase>

日本語で楽しくおしゃべりする集まりです。

- なかなか日本語を話す機会がない。
- 勉強したことばを使ってみたい。
- 仲間をつくりたい。 など

オンラインでいっしょに楽しくおしゃべりしましょう!

*毎月はじめに、その月の募集をします。左のQRコードからチェックしてみてください。その他の講座情報も載っています!



TOPIC



「ひらがなレシピ」 わしょくにほん 和食 (日本のごはん) をつくってみよう!



つくりかた

- 1 ぎゅうにく たまねぎ じゃがいも にんじん
- 2 じゃがいもは かわを むき、 4とうぶん に きる。
- 3 5みん あずに つける。 ざるに あけて みずけを きる。
- 4
- 8 ぎゅうにくを ぐわえ、いためる。
- 9 ぎゅうにくの いろが がわって きたら、
- 10 (A) を いれる。
- 11
- 12

つくり方も、とっても 分かりやすい!

ひらがなレシピって?

にほん く がいこくじん みな にほん りょうり しょうかい
 日本で暮らす外国人の皆さんに、日本の料理を紹介するサイトです。
 にほん ご べんきょう なの りょうり
 日本語を勉強しながら、楽しくお料理をしましょう!

ひらがな&しゃしんで、かんたん!

かんじ よ だいじょうぶ つく かた せつめい か
 漢字が読めなくても大丈夫! 作り方の説明はひらがなとカタカナで書
 いてあります。写真もたくさんあるので、分かりやすいです。

つくってみよう!

はじめは何か一つ、知っている料理を作ってみましょう。
 つく ことに 慣れてきたら、他のものにもチャレンジ!



ひらがなレシピは、
こちらから

youtube チャンネルも
あります

動画をみながら、和食にチャレンジ!



ひらがなネット株式会社 外国人のための講座情報



http://www.hiragana-net.com/

外国人のための講座情報
 や「ひらがなネットしん
 ぶん」など、いろいろな
 ことを知ることができる
 サイトです



生活お役立ちコラム

「新型コロナウイルス対応 指さし会話」

Point-and-Speak YUBISASHI for COVID-19

にほんご がわからなくても、大丈夫! 新型コロナウイルス
 の検査を受けたい時などに使える日本語が、無料でダウ
 ンロードできます。あなたのことと一緒に書いてある
 ので、とても分かりやすいです。19か国語あります。

ダウンロードは、こちらから!

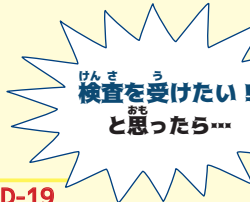
COVID-19 Phrases in 19 languages(FREE)

<https://www.yubisashi.com/covid19/>



ほかにも、災害時に使える指さし会話ツールや、旅の指
 さし会話帳などもあります。

<https://www.yubisashi.com/> ←サイトをチェック!



Point-and-Speak YUBISASHI
yubisashi.com/covid19/

検査を受けたい! と思ったら...

指をさすだけで、
聞きたいことなどを
知ることができます。

状況がわからない
I don't know what's going on.
不知道情况 不知道狀況
Je ne comprends pas tout ce
qui se passe.
Ich kenne die aktuelle
Lage nicht.
Non capisco la situazione
Saya tidak tahu situasi.
Hindi alam ang silwansya
không biết được tình hình
ଆବସ୍ଥାକୁ ଜାଣୁନା

移動できない
I can't go anywhere.
不能前往 無法移動
Je ne peux pas me déplacer.
Ich habe keine Möglichkeit mich
fortzubewegen.
No puedo desplazarme.
Non posso muovermi!
Saya tidak bisa ke mana-mana.
hindi makalipat
không đi lại được
ଆସବାସୀ ଭାгі

買い物
shopping
买东西 買貨物 (購物)
courses
Ich möchte einkaufen./Ich muss
einkaufen.
tas compras
I need to buy something.
muang sầm
Tôi cần mua đồ.

Yubisashi

株式会社情報センター出版局
 Produced by Joho Center Publishing



こまったときは
 よこはま 横浜
 横浜市多文化共生
 そうごう そうだん
 総合相談センター



045-222-1209
 t-info@yoke.or.jp



げつようび きんようび
 月曜日～金曜日
 10:00～17:00 (受付は 16:30 まで)
 だい 2 ようび
 第2・第4土曜日
 10:00～13:00 (受付は 12:30 まで)

よこはま 横浜で暮らしている外国人から、11の言葉で相談を受けます。
 相談は0円です。区役所などと電話をつないで、相談もできます。

つながる  よこはま



No. 03
2021. 1 月



にほんごコミュニケーション



Yokohama NIHONGO Support Center

<やさしい日本語版>
にほんごばん

TOPIC

ひらがなのレシピで、

わしょく にほん
和食（日本のごはん）づくりにチャレンジ！

● せいかつ やくだ
生活お役立ちコラム：

しんがた けんさう
新型コロナウイルスの検査を受けたい！どうする？

● にほんご べんきょう
日本語を勉強する「どこで？」「どうやって？」：

いろいろ

にほんご
アニメ・マンガの日本語

にほんご きょうしつ しょうかい
日本語教室の紹介

にほんご べんきょう かた
日本語を勉強したい方は、
こちらからお読みください



発行：よこはま日本語学習支援センター（運営：うんえい 公益財団法人横浜市国際交流協会（YOKE））

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1 パシフィコ横浜 よこはま 横浜国際協力センター5F YOKE 内
電話 045-222-1173 FAX 045-222-1187 MAIL c-nihongo@yoke.or.jp